

五所川原市DX人材育成計画（概要版）

【計画期間：2026年4月～2031年3月】

目的

組織全体でDXを実現するため、必要なDX人材を計画的に育成する。

DX人材の定義

- ①現状に満足しない：不便や非効率を当然とせず、業務の抜本的な見直しや再設計に前向きに取り組む。
- ②業務を深く理解する：自身や組織全体の業務構造を深く理解し、課題を正しく捉えることができる。
- ③コミュニケーション力：部署を超えて連携し、組織全体の最適化を考えることができる。
- ④目的起点でデジタルを活用できる：手段（デジタル）の前に目的（業務効率化、市民サービスの向上）を徹底する。
- ⑤ぬくもりのあるデジタル化：効率性だけではなく、市民の使いやすさを重視する。デジタルへ不慣れた人への配慮を忘れない。

類型別育成目標

	DX推進リーダー 【情報職・専門人材】	DX推進リーダー 【情報職以外・現場リーダー】	全職員 【基盤】
当事者意識の醸成	庁内全体の最適化の視点を持つ	変革の主導・前例打破の意識を持つ	日々の業務や手続きについて問い直す視点を持つ
知識・情報の習得	専門知識をもとに意思決定を支援できる	行政実務とデジタルを結び付けて考える視点を持つ	基礎的なリテラシーの習得
チャレンジ精神	新手法を試行錯誤し、知見を蓄積する	新しい施策へ挑戦・実行し、周囲を巻き込むことができる	前向きに業務改善へ関与する

DX推進リーダーとは

現場の視点から業務改善の提案や、現場の課題を吸い上げる役割を担う。さらに、具体的な改善策を実施し、周囲を巻き込みながら業務改革を実行段階へと導く。

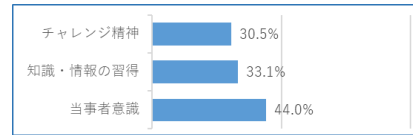
取組施策

<教育施策>

- ①毎年アンケートを実施し、強化すべきテーマを分析。次期研修内容へ反映。
- ②eラーニングやワークショップ等の実施

KPI

①職員のDX意識に関するアンケート結果



総合点



→ 3項目それぞれが60%以上、総合点が60点以上となることを目指します。

②DX推進リーダー人数

	R8	R9	R10	R11	R12
推進リーダー（情報職）	7人	8人	9人	10人	10人
推進リーダー（情報職以外）	5人	10人	15人	20人	30人